

HSK 毎月十二回(一・三・五・八・十一・十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日)発行  
一九九四年八月四日 第三種郵便物承認

# HSK

# 遊ぼうよ

No. 60

暖かいコーヒーと

スポンジケーキで

ゆいゆいほろほろ



白一色に

染まる冬景色

雪下にかかる夜は



たぬき 心のポイント

# 脳性麻痺の 二次障害に関する講演会

2010/12/11  
サニシップとやま601にて



開催しました。

脳性麻痺の二次障害に関する講演会は2007年8月以来の開催で、参加者は約30名。脳性麻痺当事者の方や家族の方の参加が多くありました。

今回は、医療機関や医療・福祉系の学校などいつもよりも広い範囲で呼びかけを行ったところ、どこの機関でもポスターの掲示を快く引き受けていただきました。ほんの少しずつかも知れませんが、脳性麻痺の二次障害について知られるようになってきたのかなと感じました。また、学生さんの参加もあり、教科書をひろげながら真剣にメモをとっている後ろ姿が印象に残っています。



お話しをしていただいたのは、高志リハビリテーション病院院長の野村忠雄先生と金沢医科大学病院整形外科教授の川原範夫先生です。



川原先生（写真左）と野村先生（写真右）の談笑の様子

野村先生からは、「成年期の脳性麻痺者の二次障害とその対策」ということで、脳性麻痺の方が大人になってからどういう問題を抱えているのが。また、その問題にどう対応していけばいいのかについて話しをしてもらいました。

それに加えて、ポリオの方々が成人期にどのような問題を抱えているかについても話していただきました。

また、川原先生からは脳性麻痺の二次障害が頸髄部分に多いということ、どこからどんな神経が出ていてその神経が傷むことによってどんな麻痺が出るのかなど、頸髄部分を中心にお話しいただきました。

さらには、手術の方法についても話しいただきました。

先生方の講演内容詳細については、次号以降お伝えしていきます。

自立生活支援センター富山の主な動き



〈この間の活動報告〉

|   |             |
|---|-------------|
| 11月18日(木) まちなか会議                          | りーぶる事務所     |
| 11月19日(金) 事務局会議                           | りーぶる事務所     |
| 11月21日(日) 日曜相談会                           | りーぶる事務所     |
| 11月22日(月) ケア会議開催                          | りーぶる事務所     |
| 11月23日(火) 送迎                              | 富山市内        |
| 11月24日(水) 相談支援事業者連絡会出席                    | ゆりの木の里      |
| 11月26日(金) 事務局会議                           | りーぶる事務所     |
| 11月26日(金) ケア会議出席                          | 大沢野行政センター   |
| 11月27日(土) 第7回講師派遣〔身体障害者・知的障害者相談員研修会(富山市)〕 | 障害者福祉プラザ    |
| 11月30日(火) 専門支援ワーキング出席                     | 和敬会生活支援センター |
| 12月3日(金) スキルアップ研修参加                       | サンシップとやま    |
| 12月3日(金) 第8回理事会                           | りーぶる事務所     |
| 12月5日(日) 送迎 1                             | 富山市内        |
| 12月11日(土) 講演会「脳性麻痺の二次障害とは」開催              | サンシップとやま    |
| 12月15日(水) 相談支援ワーキング出席                     | 富山市役所       |
| 12月16日(木) 送迎                              | 富山市内        |
| 12月17日(金) 事務局会議                           | りーぶる事務所     |
| 12月19日(日) 日曜相談会開催                         | りーぶる事務所     |
| 12月21日(火) 出張ピアカン開催                        | 高志授産ホーム     |
| 12月21日(火) 身体障害者更生相談所研修会参加                 | 身体障害者更生相談所  |
| 12月21日(火) グループホーム・ケアホーム実態調査報告会・意見交換会参加    | 障害者福祉プラザ    |
| 1月7日(金) 事務局会議                             | りーぶる事務所     |
| 1月12日(水) 専門支援ワーキング出席                      | 和敬会生活支援センター |
| 1月14日(金) 事務局会議                            | りーぶる事務所     |
| 1月18日(火) 出張ピアカン開催                         | 高志授産ホーム     |
| 1月18日(火) 就労支援ネットワーク会議参加                   | サンシップとやま    |

〈今後の予定〉

連続講座 「障害者の就労と自立とは何か？」開催 (第1回～第3回)

〈第1回目〉

3月5日(土) 「私が働き、自立すること」 サンシップとやま

# 生きる場

# 新年会を行いました。

1月12日に「NHK歳末助け合い」より頂いた義援金で新年会を行いました。

今年のメニューは…本格チャーシュー&みんなで作る手作り餃子&肉まんです。

肉まんの生地は勿論、餃子の皮もお手製。

朝から参加してくれたボランティアさんも一緒に餃子&肉まん作り開始。時々、「あっ、餃子の皮が…」「うわっ! 具がはみ出たッ」と賑やかな会話が飛び交う中、大小様々、形いろいろの餃子が完成。

出来たて餃子を頬張り、弾む会話と、とても有意義な新年会を過ごす事ができました。



『うわっ?! 中身がッ』  
『入れすぎだって(笑)』



『こうやって順番に…』  
『おお〜ッ、餃子だ!』



私が作った餃子どう?  
美味しそうでしょ☆

はいっ♪  
餃子焼けたよッ!  
美味しそう☆



完食ッ!!  
美味し  
かった!



生きる場  
特製肉まん

ありがとうございました…

「NHK歳末たすけあい」の義援金を頂きありがとうございました。

有意義な新年会を送る事ができ、とても感謝しております…富山県共同募金会様と募金して頂いた1人1人の方に感謝申し上げます。

## 障 害 者 同 士 の 結 婚

結婚、それは施設ではとても難しいこと。

身体に障害があっても、異性を好きになる気持ちは健常者と変わらない。

6 歳から始まった私の施設の生活。44 歳で地域に出たのは良いけど、右も左も分からない事ばかり。失敗談を書けば限がない。その一つにこんなことがあった。外出先でトイレをすることはめったになかった。施設では職員さんが常時一、二人いるので、いつ帰ってもトイレに困ることはなかった。その癖が抜けなくて家に帰ったら誰かいるトイレが出来ると思い込んで、、、。ところが家に帰ってみるとヘルパーさんが来るまで1時間は待たなければならなかった。初めのうちは余裕もあったが、時間が経つにつれて尿意が強くなりどう思ってトイレを我慢した事か。これによく似たことが三度くらいあったらどうか？

その時に今の主人に言われた言葉「ここは施設じゃないんだからトイレくらい済ませて来い」って、

今では長時間主人と二人の時や私一人の時は万が一の為に紙オムツを使用している。

何しろ、主人も重度の身体障害者。

2011, 1, 17 b a e a k e m i

※ a k e m i さんには編集部から「施設から出て地域で暮らすようになって感じたことや思ったことを書いてください」とお願いしたところ、上記のような文章を書いていただきました。



# 連続講座 障害者の就労と自立とは、何か？

～障害者が働こうとすると、もうひとつの現状～

第1回

## 私が働き、自立すること

●日にち：2011年3月5日（土）

●時間：13:30～16:00

●場所：サンシップとやま701  
（富山県総合福祉会館）

講師：森本 おりえさん

参加費  
無料

（三重県在住の視覚障害の方）

### ◆内容

生まれつきの視覚障害を持ち、親子で普通学校への転校を願って自主登校をしてきましたが中学校から実現できました。そして大学院修士課程を卒業し、社会福祉士の国家資格を取得され、現在は相談業務に就いて働いておられます。その森本おりえさんが、何故普通学校にこだわってきたのか。また就労の現状や想いを話してもらいながら、参加者の人たちと語り合いたいと考えています。

《プロフィール》

- 1981年・・沖縄県で生まれる。
- 1988年4月・・三重県立盲学校小学部に入学。
- 1990年6月・北立誠小学校との交流学习始まる（盲学校との2重生活）
- 1992年9月～12月・・北立誠小学校への自主登校を行う。
- 1994年3月・・盲学校小学部卒業、津市立橋北中学校に入学。
- 1997年3月・・同校卒業、三重県立三重夢学園高校に入学。
- 2000年3月・・同校卒業、皇學館大学社会福祉学部に入學。
- 2004年3月・・同校卒業、同大学大学院修士課程に入學。
- 2006年・・同大学大学院卒業、伊賀市適応指導教室にて、「活動指導員」として勤務。
- 2008年3月・・同機関を退職、社会福祉士国家資格取得。
- 2009年5月・・三重県立緑が丘特別支援学校に相談員として、津市障がい者支援センターに社会福祉士の一人として勤務。
- 2010年3月・・緑が丘特別支援学校を退職。現在、津市障がい者相談支援センターにて週3ないし4日勤務している。



主催：自立生活支援センター富山（障害者相談事業部門・作業所部門富山生きる場センター）

お問い合わせ：TEL：076-444-3753/FAX：076-407-5557

参加費無料

連続講座

# 障害者の就労と自立とは 何か?

**テーマ：「障害者が働こうとするとき—もうひとつの現状—」**

就職を取り巻く状況は、少子化時代の新卒大学生の就職率が過去最低と言われているにもかかわらず、障害者の就労状況が好転していると言われてきました。(富山労働局は2010年6月1日現在で県内企業の障害者実雇用率は0.01%上昇し1.68%となり過去最高の実雇用率との発表が2010年10月に出されました。)

障害者自立支援法では、「就労支援」が叫ばれ取り組まれてきています。しかし、様々な障害者からは就労に対しての厳しい現状が訴えられています。本当に障害者の実態が発表されている数値に反映されているのだろうかと疑問を抱かずにはられません。現状は「職場での定着がなかなか難しく離職する人が少なくないこと」、「介助が必要な障害者は作業所などからも敬遠される」、「車いすを利用している障害者は、応募できない企業が殆どであること」、「障害者の通勤手段の確保できないこと」、「資格を取得しても正規雇用につながらない」などの現状があります。

そこで、既存の労働という中での就労の問題はもちろん、重度の障害者にとって「ほんとにデイサービス等しかないのか」、その疑問に対して違った視点で取り組みを始めた全介助のいる人工呼吸器を付けた障害者や脳性麻痺障害者の人を呼んで、障害者の「就労の現状」や「自立」を私たちなりの角度から考えようということで、3回シリーズで講演会の企画を考えています。

## <第2回「仕事を探しています。仕事を下さい。」>

日時：2011年8月頃(予定)  
場所：サンシップとやま(予定)  
講師：赤阪はなさん

(大阪府在住、重度の脳性麻痺の方)

内容：

よく言われることは、その人は何ができるのかと、身体的な能力・能率ばかり。

しかし、私(はな)がその場に存在することで、あなたや周りの人がどのように関わりどのように変わっていきけるのか。

また、私(はな)が飛び回ることによって社会がどのように変化していきけるのか。いろんな人とふれあうこと、いろんなところに出かけること・・・それが私(はな)の仕事。

## <第3回「夜遊びしたい!働きたい!彼氏もほしい!」>

日時：2011年11月頃(予定)  
場所：サンシップとやま(予定)  
講師：平本歩さん

(兵庫県在住の人工呼吸器を付けた方)

内容：

日本で初めて在宅で人工呼吸器を付けて生活し、普通学校に通った歩さん。

会話は文字盤とパソコンのメールです。お父さんが亡くなってヘルパーさんを入れて地域で生活し、全国を飛び回り、現在は保育所で講師をしています。

お父さんの遺言「自立に向かって邁進せよ」を只今、実行中。

主催：自立生活支援センター—富山 { 障害者相談支援部門  
作業所部門(富山生きる場センター) }

お問い合わせ：自立生活支援センター—富山 (富山市新川原町5-9レジデンス新川原1階)  
TEL：076-444-3753/FAX：076-407-5557 -7-